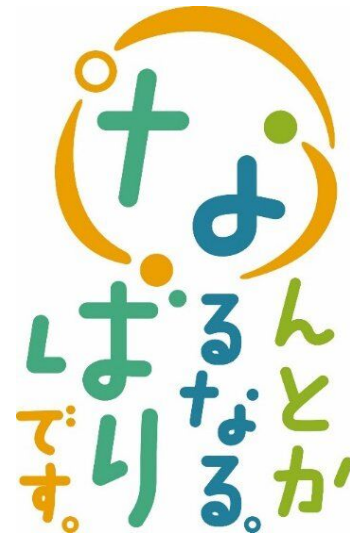


地域福祉(活動)計画にかかる各施策の取組状況

「地域共生社会」から「語れるまちなばり」へつなぐ



悩みや不安なことも支え合いでなんとかなる。
 人のつながりやあたたかさ、
 そして、市民から生まれるさまざまな活動がまちの自慢です。

チャレンジをしたい人や元気になりたい人はぜひ名張へ。
 名張の市民が「なんとかなるなる」の精神で受け入れます。

名張市

令和8年5月12日(火)

第5次名張市地域福祉(活動)計画の推進体系と各施策の取組状況

基本目標

推進項目(取組の柱)

取組の方向性

各施策の取組状況

基本目標①

多様な主体の
参画と協働
ネットワーク
づくり

① 包括的な相談支援体制
の強化

- ・様々な課題を包括的に受け止める相談支援体制(重層的支援体制)の整備・拡充
- ・多機関協働による包括的支援体制の充実

② 誰ひとり取り残さない
見守り支援体制の整備

- ・地域の孤立防止に向けた見守り支援体制の整備
- ・新たなニーズへの対応力の向上

③ 地域福祉推進の共創基盤
(プラットフォーム)づくり

- ・社会的処方による支援機能の充実
- ・多様なつながりの場づくりの推進
- ・地域ニーズと社福法人等とのマッチング

・NabaLink
(子ども若者のための
第三の居場所)

基本目標②

「つながる」を
意識
人と組織を
はぐくむ

① 地域福祉活動の情報発信
・啓発等の推進

- ・地域活動や福祉サービス等の情報発信の充実
- ・地域福祉の現状への理解の深化・促進

② 地域福祉を支える人材の
育成・参加促進

- ・地域活動を行う人材の育成・確保の促進
- ・福祉教育の推進
- ・ボランティアセンター機能の強化

③ 持続可能な地域福祉推進に
向けた事業・組織の変革

- ・団体等への支援機能の強化
- ・次世代の担い手への円滑な継承
- ・地域福祉を推進するための財源の確保

・民生委員児童委員の日活
動強化週間

第5次名張市地域福祉(活動)計画の推進体系と各施策の取組状況

基本目標

推進項目(取組の柱)

取組の方向性

各施策の取組状況

基本目標③

誰もが「安心」や「つながり」を実感

場・環境づくり

① 安心・安全に暮らせる環境の整備

② 誰もが生きがいや役割を持てる社会参加の支援

- ・「地域あんしんねっと」の推進
- ・災害ボランティアセンター機能の整備
- ・地域ささえあい活動の推進
- ・住宅確保要配慮者への居住支援等の推進

- ・地域の多様な居場所の創出・見える化
- ・公共の場や身近な生活空間でのつながりづくりの推進
- ・介護予防・健康づくりの強化
- ・生きがいや就労機会の創出

- ・ともしかじるつながるフェスタ
- ・福祉避難所開設運営訓練
- ・福祉避難所への防災倉庫設置、備品搬入
- ・地域防災取組
- ・介護予防事業
- ・介護予防×民間事業者
- ・地域の見守り活動推進事業
- ・地域×専門職×民間事業者×行政

基本目標④

自殺対策の推進(自殺対策計画)

- ・安心して暮らせる地域づくりの推進
- ・つながる(断らない)相談支援の強化
- ・啓発や研修を通じた周知活動の推進
- ・若い世代への相談機関の情報提供

・若者世代への啓発活動
(名張青峰高校文化祭)

基本目標⑤

再犯防止等の推進(再犯防止推進計画)

- ・包括的な相談支援体制の確保・拡充
- ・住宅確保要配慮者に係る住居確保支援の取組等の推進

基本目標⑥

成年後見制度の利用促進
(成年後見制度利用促進基本計画)

- ・権利擁護支援、成年後見制度の利用促進
- ・法人後見事業の推進
- ・担い手育成・活動支援の充実

多様な主体の
参画と協働
ネットワーク
づくり

な ば り ん く

Nabaりんく(子ども若者のための第三の居場所)

放課後や休日に、子どもや若者が気軽に集うことができる居場所、家や学校に居づらさを感じている子どもが安心して過ごすことができる居場所をつくる



Nabaりんく実行委員会

市内在住もしくは市内の高校・高専・事業所に通う若者(16~25歳までの20名)で構成

- ・Nabaりんくの広報・PRチーム(6名)
- ・イベントの企画運営チーム(7名)
- ・Nabaりんくの施設運営チーム(13名)
- ・事業所への協力交渉チーム(6名)

を組織してチームで活動

また、Nabaりんくの各部屋の係を決めて、部屋の運営に携わっていく

目的

- (1) 困難を抱える子どもの支援
- (2) 表面化していない困難を抱える子ども・若者のアウトリーチによる早期発見
- (3) 子ども・若者からの市や地域への意見表明
- (4) 多世代間交流の促進
- (5) 学校に行きづらさを抱える子どもの居場所

場所

名張市総合福祉センターふれあい3階(名張市丸之内79)

令和8年6月27日
開所予定

多様な主体の
参画と協働
ネットワーク
づくり

な ば り ん く

NabaLink(子ども若者のための第三の居場所)

施設の紹介



- 静のエリア**
- ①読書コーナー**
ハンモックやソファで、ラックにある漫画や雑誌などを自由に読めるスペース
 - ②学習室**
机とイスを並べ、遮音された部屋で集中して勉強ができる部屋。
 - ③フレイルーム**
プロジェクターを設置し、大画面でDVDの視聴ができる。遮音室なので、楽器演奏やeスポーツなどもできる
 - ④フリースペース**
ダーツ機、フロアマット、テーブル、イスを設置し、座ったり寝そべてのボードゲームやダーツを楽しむ
 - ⑤交流スペース**
テーブル、イスを設置し、おしゃべりや交流、飲食ができる
 - ⑥浴室・洗濯室**
必要に応じてシャワーや入浴ができる
 - ⑦受付カウンター**
利用カードをかざして入退館する
 - ⑧事務室**
専門相談員が在駐し、専門的な相談に対応できる
 - ⑨相談室**
個室で相談を受けることができ、食事をとることもできる
- 動のエリア**
- ⑩料理教室 (高齢者等と共用)**
 - ⑪健康指導室 (高齢者等が使用しないときに利用)**
- 支援エリア**
- ⑩料理教室**
必要に応じて食事を提供でき、調理イベントも実施できる
 - ⑪健康指導室**
イベント活動や勉強など多目的に使える

自由に使える!
完備!

ロッカー、電子レンジ・冷蔵庫・ポット、自動販売機
下駄箱(三重県産木材を使用)、掲示板、テレビ

冷暖房 無料Wi-Fi

高齢者等エリア

高齢者と共用

「つながる」を
意識
人と組織を
はぐくむ

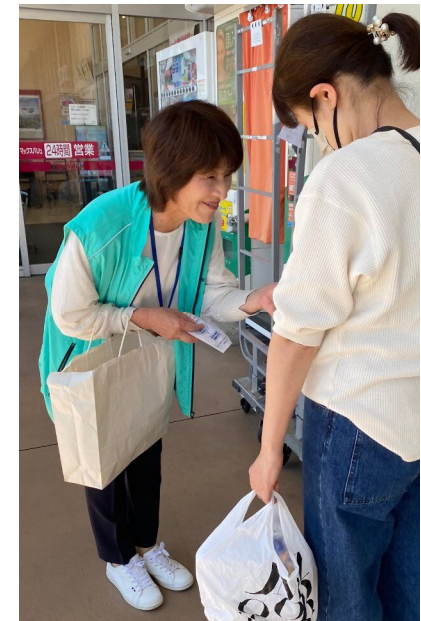
「民生委員・児童委員の日 活動強化週間」啓発活動

日時：5月10日（日）10：30から1時間程度

場所：イオン名張店、MEGA ドン・キホーテUNY

名張店スーパービバホーム名張店、万代名張店

マックスバリュ名張店、マックスバリュ桔梗が丘東店



誰もが「安心」や「つながり」を実感
場・環境づくり

ともにかんじるつながるフェスタ2025開催

～ 名張市共生地域デザイン会議2025年度啓発事業 ～

**ともにかんじる
つながるフェスタ2025**

障害のある人もない人もともに暮らしやすいまちをめざして、障害や障害者への理解を深めることを目的に開催します。事業所で作成した作品の販売や日頃の活動の体験を一緒に楽しみましょう。

知ろう

- ・障害についてや生活を支える資源を知る
- ・権利擁護について学ぶ
- ・ヘルパーさんのお仕事紹介&求人コーナー
- ・盲導犬のおしごと&グッズ販売
- ・心のサポーターになろう(養成講座の紹介)

見よう

- ・アーティストたちによる展覧会
- ・啓発ロゴがうまれるまで
- ・感覚を育てるおもちゃの展示

やってみよう

- ・オリジナル缶バッジ作り
- ・SSピンポン
- ・ポッチャ
- ・eスポーツ
- ・手話でごあいさつ

感じよう (13:00～14:30)

- ・ミュージックベル
- ・樽太鼓
- ・コーラス
- ・手話歌

就労マルシェ 同時開催

障害のある方が就労を目指すためのサポートをしている福祉サービス事業所が集まり、焼き菓子、パン、野菜、工芸作品等を販売します。

主催：伊賀圏域障がい福祉連絡協議会（就労総合事業所連絡会WG）

スタンプラリー
失着200名
ともにかんじてつながったかたに
お楽しみプレゼントあります。

日程 2026.3.29 (日) (11:00～15:00)

場所 名張市総合福祉センター ふれあい

駐車場 名張小学校グラウンド
駐車台数に限りがありますのでお誘い合わせの上ご来場ください

主催：名張市共生地域デザイン会議
お問合せ：名張市役所障害福祉室
TEL:0595-63-7591 FAX:0595-63-4629
E-mail shogai@city.nabari.lg.jp

共催：名張市

参加団体：伊賀保健所 ゴトシム名張事業所 手話サークルみはたわかば 地域活動支援センターひびき
名張育成会地域啓発支援室 名張市手をつなぐ育成会みよしの家 名張市基幹相談支援センター
名張市精神障害者家族会なはるの会 名張市社会福祉協議会 日本ライトハウス盲導犬訓練所 ふれんど百合
三重県SSピンポン協会 三重県福祉人材センター みえポッチャ協会 ワークショップステップアップ ワークプレイス 他

ポスターデザイン制作：ワークプレイス さくらプラスワークス 名張

昨年まで開催の障害への理解を深めるための映画上映会を、「もっと障害のことを知りたい。ふれあう機会をもっと作ってほしい。」「自分にも何かできることがあるかもしれない。」といった声をいただき、令和7年度は、障害のある方が普段活動されている様子や作品を見て、知って、「かんじて」いただける参加型イベントを開催しました。



フェスタ開催風景



今回のイベントでは、障害者スポーツ体験、盲導犬の役割紹介、福祉事業所の作品展示、野菜、お菓子、パンの販売、コーラスや樽太鼓の演奏など、体験や交流を通して楽しみながら障害への理解を深め障害がある人もない人も「ともにつなごう」ときっかけづくりとして開催し、276人の方に参加していただきました。

令和7年度福祉避難所開設運営訓練

1. 概要

南海トラフ地震を想定した避難行動要支援者等への避難支援について、福祉避難所開設運営訓練を実施して、市災害対策本部からの開設要請～開設～避難者の受け入れに係る一連の行動を検証するとともに地域、社会福祉施設、市の連携の強化を目的として訓練を実施しました。

2. 実施時期・場所

令和8年1月27日(火)、名張特別養護老人ホーム

3. 訓練参加者

- (1) 三重県(DWAT(保健師チーム)、県社協)
- (2) 名張市
- (3) 名張市福祉法人連絡会、名張特別養護老人ホーム
- (4) 講評 三重大学 水木准教授に依頼



4. 訓練内容

令和8年1月24日午前9時に本市で震度6弱の地震が発生したという想定で、発災3日後、指定避難所である美旗市民センターの要配慮者スペースに避難中の要配慮者の移送の要望を受領した市災害対策本部より福祉避難所である名張特別養護老人ホームに対する福祉避難所開設及び避難者の受け入れ要請に基づき、同施設において福祉避難所の開設、避難者の受け入れ等に係る一連の行動を訓練しました。

「つながる」を
意識
人と組織を
はぐくむ

福祉避難所開設運営訓練状況



要配慮者の状態の聴取調査



職員による避難スペースの開設



避難者の受付・状態確認



避難スペースへの誘導



施設職員の所見発表



講評(三重大学水木准教授)

○三重県からの訓練参加、伊賀市からの研修者受入れ等含め約70名が本訓練に参加しました。

福祉避難所への防災倉庫の設置、備品の搬入

1. 設置日時

倉庫設置 令和7年11月21日

物資搬入 令和8年 1月19日

2. 設置場所

福祉避難所となる8法人につき各倉庫1を配備

3. 配備物資等

倉庫の容積の関係から介助者を含めた概ね6組程度分を基準として備品等を配備
(災害時、不足分は市から追送予定)



各施設に新設した倉庫

倉庫を設置した法人・施設

	法人名	施設名
1	名張育成会	名張育成園 成美
2	弘仁会	特別養護老人ホーム国津園
3	名張厚生協会	名張特別養護老人ホーム
4	グリーンセンター福祉会	グリーントピア名張
5	東海宏和福祉会	特別養護老人ホームもみじ山荘
6	こもはら福祉会	特別養護老人ホーム第3はなの里
7	おきつも福祉会	特別養護老人ホームゆう
8	名張社会福祉協議会	総合福祉センターふれあい

配備物資等

品目	数量	備考
段ボールベッド	2	要配慮者用
簡易ベッド	6	介助者・要配慮者用
段ボール間仕切り	2	
ワンタッチパーティション	6	
毛布	20枚	
大人用おむつ	2袋	Mサイズ、Lサイズ
防災食	100食	高齢者用のおかゆなど
水	2箱	2L×6本
簡易トイレ	2箱	凝固剤で固めるトイレ

誰もが「安心」や
「つながり」を実感
場・環境
づくり

介護予防事業における民間事業者との連携

○ 民間事業者の強みを生かした介護予防事業の実施

⇒ 多様で魅力的な事業による市民の参加意欲の向上に期待

○ 多様な通いの場を整備

⇒ 高齢者を支える新たな通いの場としての役割を民間事業者に期待

○ 高齢者の視点から地域公共交通を考える取組 ⇒ 介護予防事業の成果向上に期待

民間事業者による介護予防事業の一例

はしもと総合診療クリニック ちいちかけん
新たな自分を発見! 大人のクラフトクラブ



株式会社ネクスト・ワン
ゲームでも頭でも心も元気に! シニアスポーツサロン



訪問フットケア TEKUTEKU
歩く・暮らすをもっと快適に! 足と爪のケア教室



Perhe (ペルヘ)
美味しく介護予防! パンで広がる笑顔の輪



高齢者の移動手段に関するワークショップ(令和8年1月21日)

- ① 地域公共交通の背景・現状・在り方等について大同大学樋口先生の講義
- ② 高齢者の移動手段を「自分事」として捉え、民間事業者として何ができるかを考える

▶▶▶ 地域公共交通を考えることも介護予防事業(≒営利活動) 



誰もが「安心」や「つながり」を実感
場・環境づくり

地域の見守り活動推進事業

- 平成21年から続けている協定に基づく見守り活動を拡大し、広く民間事業者の参画を依頼
→ 生活基盤サービスを担う民間事業者だからこそ気づける市民の変化を捉え、必要に応じて支援に繋げる
- 令和8年1月29日(木)には、当該事業の機運醸成を図るためキックオフセミナーを開催
→ 約30名の参加があり、異業種交流が図られ、様々な連携の可能性を確認。

《広報なばり(R8.1)による事業の特集記事》

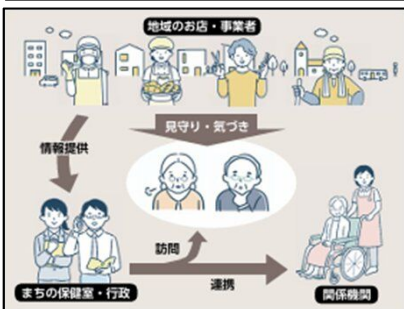
《キックオフセミナーの開催状況》



まちのあちこちに、
「見守りの目」を増やそう。

地域の商店や企業は、買い物やサービスを通して、毎日の暮らしを支える“まちの基盤”です。お客さんの身体の変化や、いつもと違う様子にいち早く気づける場所でもあります。

市では、お店の皆さんからの「気になる」情報を関係機関につなぎ、地域全体で安全・安心を支える「地域の見守り活動」の体制づくりを整えていくため、「地域の見守り活動推進事業」を進めていきます。



「何をしたらいいかわからない」という人はぜひご参加を！
**地域の見守り活動推進事業
キックオフセミナー**

日時 1月29日(木) 10:00～11:30
場所 防災センター
内容 事業の概要説明、地域の見守り活動の事例紹介、可能性指向を学ぶワークショップ
講師 慶應義塾大学大学院 蛸田 聡子 教授
対象 地域の見守り活動推進事業の登録者など
定員 50人
申込 1月22日(木)までに、申込フォームから申込



誰もが「安心」や
「つながり」を実感
場・環境づくり

地域×専門職×民間事業者×行政 ～地域福祉の連携推進～

○講義

『福祉を地域にひらくデザイン思考』

～面白いを入り口に!わくわくする企画力を高める取組に～

講師:松崎亮氏

宮崎県三股町社会福祉協議会

コミュニティデザインラボ 所長

○ワークショップ

『名張の困りゴト「大喜利」』 ～一緒に考える 名張の未来～

ファシリテーター:水谷祐哉氏(みえ社会的処方研究所 代表)

ちょっと気になる『もやもや(困りごと)』

⇒『わくわく』する企画に変えてみる

⇒『やるやる』のつながりづくりへ



共催: みえ社会的処方研究所 / 名張市地域包括支援センター

地域は福祉と 混ざり合う

参加費 無料

地域は、もっと福祉とまざりあえる。
高齢化や型い手不足。「課題」として見れば置きたい言葉も、 視点を変えれば、新しいつながりが生まれ
る「きっかけ」になります。
福祉は、専門職だけのものではありません。地域の商店も、企業の技術も、行政の仕組みも。誰かの
「困りごと」を「おもしろい企画」に変えて混ざりあったとき、名張の町は、もっと安心して笑顔で暮らせる
場所になるはずです。
デザインとアイデアの力で、福祉と地域の境界線を溶かしてきた松崎亮さんと共に、 私たちがワクワクする
「名張の未来」を、一緒に描いてみませんか?

2026年
3月17日 火 13:15-16:30(13:00～受付)

会場: 名張産業振興センター (アスパイア1)

定員 50名

13:00- 開場

13:15-14:00
1 一般介護予防事業説明会
名張市地域包括支援センター

14:00-15:20
2 福祉を地域にひらくデザイン思考
三股町社会福祉協議会
コミュニティデザインラボ 所長 松崎亮氏

15:30-16:30
3 名張の困りゴト「大喜利」
みえ社会的処方研究所

宮崎県三股町社会福祉協議会
コミュニティデザインラボ 所長

松崎 亮氏
コミュニティデザインによるアウトリーチの可能性を感じ、社会福祉協議会内で「COMMUNITY DESIGN LAB」を設立。2025年までに「200の活動、2025人の地域活動者を生み出し、地域住民の活動で地域課題の解決を目指す」ミッションを達成。
現在は「夜立よる学校プロジェクト」も推進中。

共催: みえ社会的処方研究所 / 名張市地域包括支援センター
後援: 一般財団法人オレンジクロス
お問い合わせ: TEL: 070-4308-0959
メール: mieshohoken2020@gmail.com

参加申込は、お申し込みは専用フォームから!

若者世代を啓発活動

《令和7年度実施の取組》

○若者世代への啓発活動(名張青峰高校文化祭) 9月12日開催

上野病院:ストレスチェックとアドバイス

伊賀保健所:リーフレットやティッシュの配布による啓発

名張市役所:インボディ測定(筋力・体脂肪等の測定)

○こころのサポーター養成講座 1月29日開催

まちの保健室職員 28名受講

《令和8年度実施予定の取組》

○若者世代への啓発活動:伊賀保健所と協働で実施予定。

○小中学校に対して「SOSの出し方教育」の案内。依頼があれば実施。

○図書館に「こころのコーナー設置」(自殺対策強化月間(3月)に予定)

○こころのサポーター養成講座 6月9日開催予定

障害者福祉部会に属する民生委員児童委員

3年間の任期ですべての民生委員児童委員受講予定

